

佐賀中学校の皆さんが工事現場を見学します。

～ 実際の建設現場で働く人たちから学ぶ ～

中村河川国道事務所が早期完成に向けて事業を推進している一般国道56号片坂^{かたさか}バイパスの橋梁工事について、佐賀中学校の生徒を対象に現場見学を開催します。

片坂^{かたさか}バイパスの市野瀬^{いちのせぼし}橋は、片坂^{かたさか}バイパスの中でも長さ・高さともに最大の橋梁であり、平成27年3月から工事に着手しました。その後、順調に工事が進んでおり、現在橋長264mのうち231m(約9割)まで張り出し架設が完了しています。

本見学会を通じて、公共事業に興味を持っていただくことで、将来の建設業の担い手確保に繋げることができればと考えています。

[日 時] 平成28年5月12日(木) 14:00～15:10 (予定)

※小雨決行(荒天候時は中止します。)

[場 所] 市野瀬^{いちのせぼし}橋上部工事現場 (片坂^{かたさか}バイパス)

[見学者] 黒潮町立佐賀中学校 3年生 生徒32名 教員4名(予定)

平成28年5月10日

国土交通省 四国地方整備局 中村河川国道事務所

本施策は、四国圏広域地方計画の広域プロジェクト【No.1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト】の取組に該当します。

問い合わせ先

国土交通省 四国地方整備局 中村河川国道事務所 TEL0880-34-7301(代表)

副所長(道路) 坂井^{さかい} 剛^{つよし} (内線 205)

○ 工務第二課長 松本^{まつもと} 洋一^{よういち} (内線 411)

○主な問い合わせ先

1) 一般国道56号片坂バイパスについて

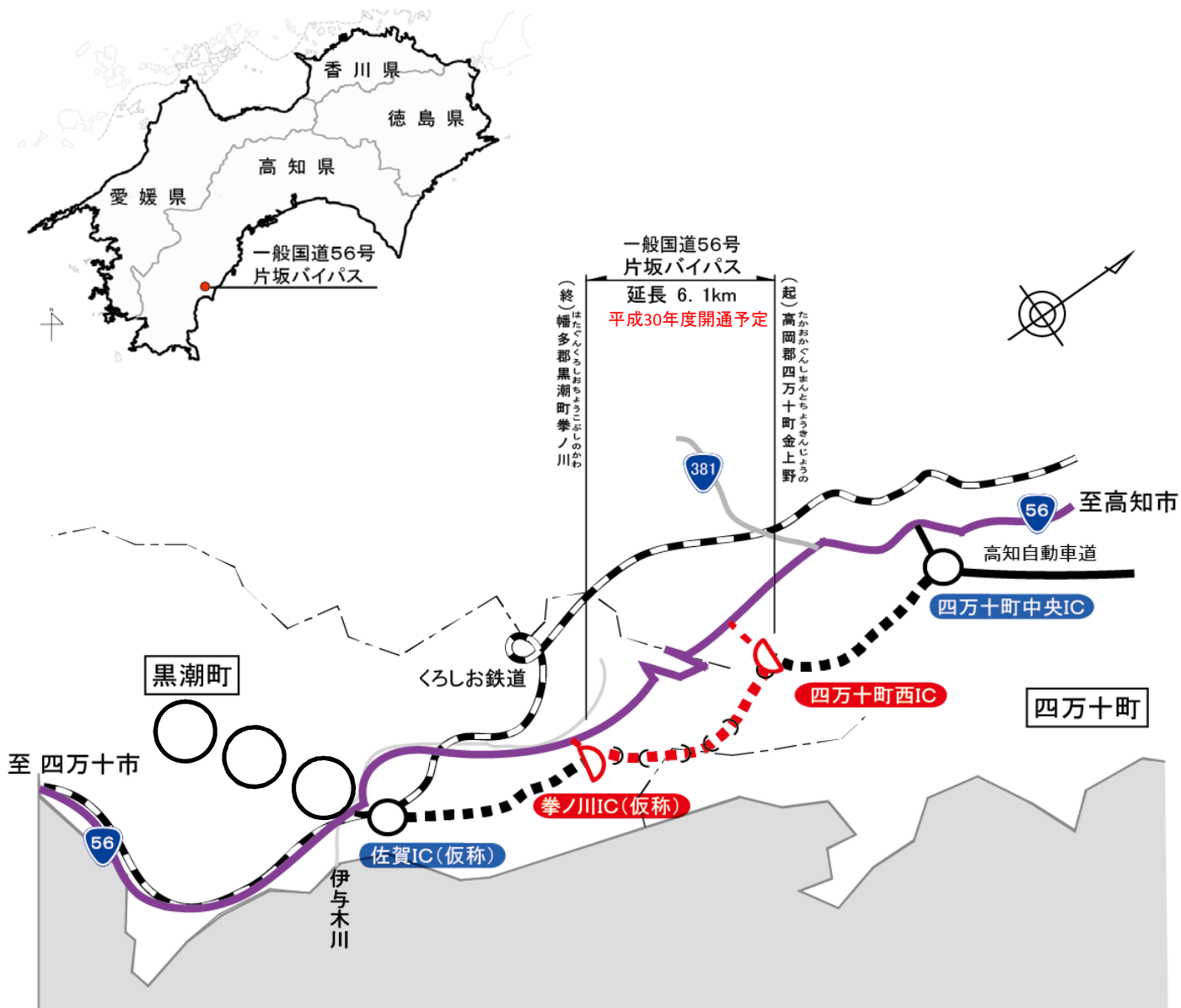
[概要]

一般国道56号片坂バイパスは、南海トラフ地震や豪雨時において法面崩壊等、災害発生の可能性が高い国道56号の危険箇所や線形不良箇所を回避し、災害時に機能する緊急輸送道路を確保するとともに、第3次医療施設への迅速な救急搬送の支援や、地域産業の活性化に寄与する道路です。

また将来は、「四国8の字ネットワーク」として高知自動車道と接続し、高知西南地域の高速交通ネットワークの一翼を担う道路となります。

なお、片坂バイパス(延長6.1km)は平成30年度開通に向け工事を進めています。

[位置図]



2) 現場案内図・スケジュール

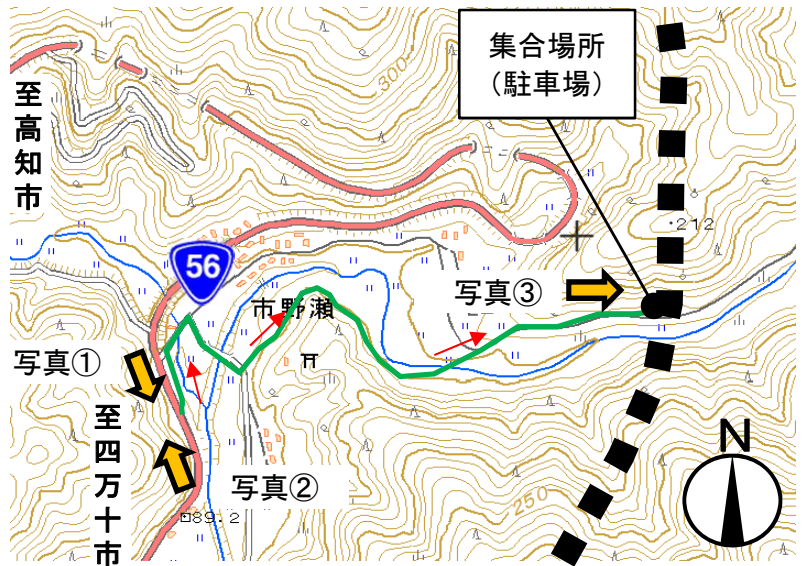
[片坂バイパス 市野瀬橋工事現場 位置図]



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものを一部転記したものです。
(承認番号 平24四複、第25号)



<写真①>
国道56号からの入り口
高知市側から見たところ



この地図は、国土地理院が提供する電子国土Web地図を利用したものです。



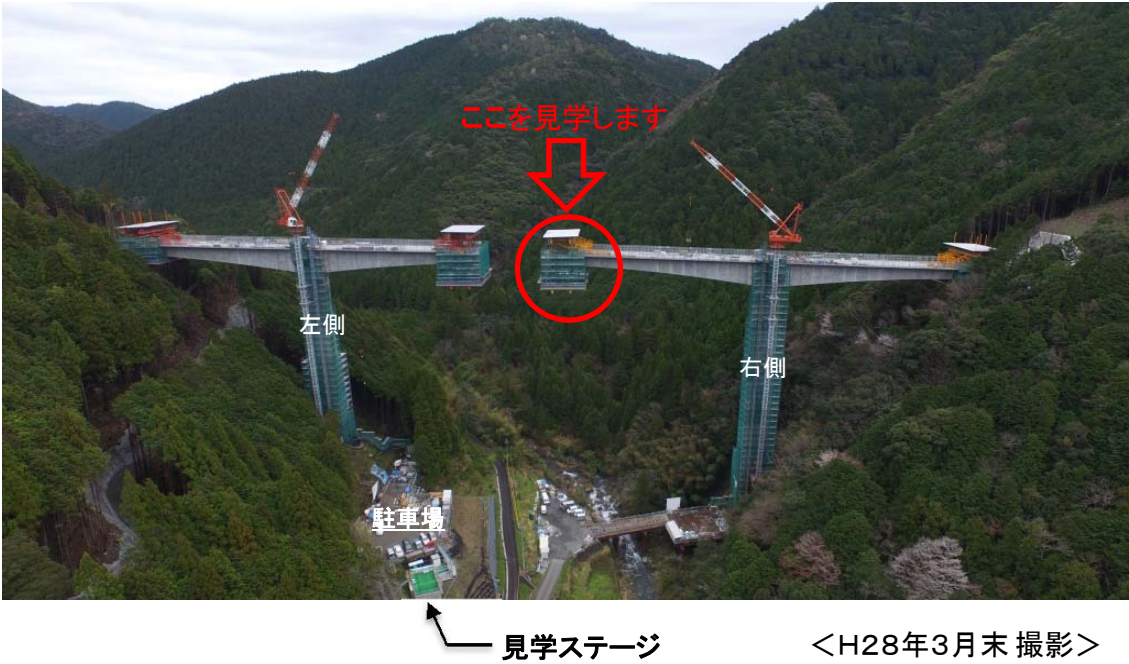
<写真②>
国道56号からの入り口
四万十市側から見たところ



<写真③>
現場入り口
まっすぐ進入してください。

[現在の工事状況]

○片坂バイパス 市野瀬橋上部工事



[見学会スケジュール]

- 現場見学会に参加される報道関係者の方は、予定時間までに現地集合場所(駐車場有り)にお越し下さい。
- 小雨決行(荒天時の場合には中止となります。)

(1) 佐賀中学校(3年生 生徒32名、教員4名 予定)

平成28年 5月12日(木)

時 間	内 容
14:00~14:10	見学ステージで工事概要の説明
14:00~15:00	エレベーター(右側橋脚)で上部へ移動して、作業現場の見学 模型を使用して、橋のしくみの説明
15:10	見学会終了